

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	鍼灸診断実技	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	前期	教室名	実習室
担 当 教 員	大西 真	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

医療人としての患者対応や問診、検査や道具に関する技術を修得し、患者との良好な関係性を築くことを目的とする。治療に必要な情報を得ることができれば、治療内容は格段に良くなると考えられる。授業内で施術者が白衣を着ることで治療者の立場で患者対応に徹することができる。また患者役は俯瞰的に治療する側とされる側を捉えることによって、治療者側になった時に生かせるものを感じることができる。

《成績評価の方法と基準》

第7回(予定)の血圧測定を中間試験として20%、期末試験の実技試験を80%とし、100点満点で評価します。中間試験の結果とフィードバックは第8回の授業でお知らせします。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

配布資料(冊子)、ずっと使える！鍼灸臨床BOOK(滋慶認定実技審査対応)
ベッド、丸イス、タオル、枕、ペーパータオル、白衣、短パンなどの患者着、メモ、カルテ
血圧計、メジャー、打鍵槌、ゴニオメーターなど

《授業外における学習方法》

臨床医学各論Ⅰの内容で、この授業内で行えるものは実際に確認し、実技補習の場で再度練習をすること。臨床医学総論や鍼灸診断学での同様の内容部分を理解し、身体を使って再現できるように反復練習すること。普段から患者対応を意識した言葉遣いやコミュニケーションを心がけること。鍼灸臨床BOOK第3章を参考に自学自習をおすすめします。

《履修に当たっての留意点》

この実技は臨床においてどこまで対応できるか実践的に学ぶ内容です。国家試験の範囲でもありますが、患者対応や臨床的動作は一足飛びには修得が難しいものです。反復練習を心掛けて体得しましょう。卒業試験と同様の内容が盛り込まれていますので頑張ってください！

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション能力の重要性を認識する 患者への配慮とともに、誘導を実施できる	配布冊子 白衣、ペン 丸イス、ワゴン	ずっと使える！鍼灸臨床BOOKでの内容確認
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキル／患者との関係性を理解した対応とは 医療面接の概略 患者誘導 挨拶 パーソナルスペース 患者への指示と動かし方 患者配慮		
第2回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	傾聴と共感をもって問診項目を洩らさず聴取できる	配布冊子 白衣、ペン 丸イス、ワゴン	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨床BOOKでの内容確認
	各コマにおける授業予定	問診／傾聴と共感をもって患者情報を聴取する医療面接 問診のテクニック 質問の種類 現病歴・既往歴・社会歴・家族歴の確認 医療面接実技		
第3回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	自分の目と手で患者情報を得ることができる	配布冊子、ペン 白衣、患者着 丸イス、ワゴン ベッド、枕、タオル 脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	視診・触診／視覚と触覚によって他覚的情報を得る 入室・退室時の視診 診察・治療中の視診 触診の種類 実技：骨格の視診・触診 腰部の視診触診		
第4回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	触診によって脈拍を正確に測定できる 血圧計での測定を理解できる	配布冊子、ペン 白衣、患者着 血圧計、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	脈拍・血圧／脈拍測定と血圧計の操作方法 患者役の脈拍を測定し数値を記入		
第5回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	体重、身長からBMIなどを正しく求められる 患者の測定部位を正しい方法で測定することができる	配布冊子、ペン 白衣、患者着 メジャー、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	身長、体重、四肢長および周径／各部位の測定 標準体重 肥満度 BMI 上肢の測定 下肢の測定 数値の記入		

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	医療面接から検査の流れに沿って行うことができる	配布冊子、ペン 白衣、患者着 血圧計、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	これまでの内容の復習
	各コマにおける授業予定	1回～5回の復習 挨拶 誘導 自己紹介 患者確認 全体説明 医療面接 血圧測定 視診・触診 症状確認		
第7回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	深部腱反射を正しく行える 関節可動域を正しく測定できる 筋力検査が正しく行える	配布冊子、白衣 角度計、血圧計 打鍵槌、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	実技補習で血圧測定 の練習をする 冊子で血圧測定 の項目チェック をする
	各コマにおける授業予定	深部腱反射: 上肢・打鍵槌によって下肢の反射検査を実施 関節可動域検査: 角度計を使って可動域の角度を測定していく 徒手筋力検査: 各関節に関わる筋力の判断をしていく		
第8回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	深部腱反射を正しく行える 関節可動域を正しく測定できる 筋力検査が正しく行える	配布冊子、白衣 角度計、血圧計 打鍵槌、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨 床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等 の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	深部腱反射: 上肢・打鍵槌によって下肢の反射検査を実施 関節可動域検査: 角度計を使って可動域の角度を測定していく 徒手筋力検査: 各関節に関わる筋力の判断をしていく		
第9回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	感覚検査が正しく行える 関節可動域を正しく測定できる 筋力検査が正しく行える	配布冊子、白衣 角度計、血圧計 打鍵槌、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨 床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等 の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	感覚検査法: 患者の触覚と痛覚の検査を実施 関節可動域検査: 角度計を使って可動域の角度を測定していく 徒手筋力検査: 各関節に関わる筋力の判断をしていく		
第10回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	頸部・上肢の徒手検査が正しく行える	配布冊子、白衣 角度計、血圧計 打鍵槌、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨 床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等 の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	徒手検査: 頸部・上肢の検査(頸椎症、頸部神経根症、胸郭出口症候群、肩峰下インピンジメント症候群、腱板断裂、上腕二頭筋長頭腱炎、上腕骨外側上顆炎、ド・ケルバン病、上肢末梢神経障害)		
第11回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	腰部・下肢の徒手検査が正しく行える	配布冊子、白衣 角度計、血圧計 打鍵槌、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨 床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等 の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	徒手検査: 腰部・下肢の検査(仙腸管節障害、坐骨神経痛、股関節障害、腸頸靭帯炎、膝関節障害、アキレス腱断裂)		
第12回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	頸部・上肢・腰部・下肢の徒手検査が正しく行える	配布冊子、白衣 角度計、血圧計 打鍵槌、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨 床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等 の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	徒手検査: 頸部・上肢・腰部・下肢の検査 反復練習を通して患者の肢位や自分の姿勢、患者への指示、陽性所見と疾患名を覚えていき検査結果をカルテに記載する。		
第13回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	頸部・上肢・腰部・下肢の徒手検査が正しく行える	配布冊子、白衣 角度計、血圧計 打鍵槌、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨 床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等 の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	徒手検査: 頸部・上肢・腰部・下肢の検査 反復練習を通して患者の肢位や自分の姿勢、患者への指示、陽性所見と疾患名を覚えていき検査結果をカルテに記載する。		
第14回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	頸部・上肢・腰部・下肢の徒手検査が正しく行える	配布冊子、白衣 角度計、血圧計 打鍵槌、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨 床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等 の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	徒手検査: 頸部・上肢・腰部・下肢の検査 反復練習を通して患者の肢位や自分の姿勢、患者への指示、陽性所見と疾患名を覚えていき検査結果をカルテに記載する。		
第15回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	頸部・上肢・腰部・下肢の徒手検査が正しく行える カルテ記載が正しくできる	配布冊子、白衣 角度計、血圧計 打鍵槌、丸イス ワゴン、ベッド、 枕 タオル、脱衣かご	配布冊子による予習 ずっと使える！鍼灸臨 床BOOKでの内容確認 臨床医学総論での同等 の内容部分を予習
	各コマにおける授業予定	徒手検査: 頸部・上肢・腰部・下肢の検査 反復練習を通して患者の肢位や自分の姿勢、患者への指示、陽性所見と疾患名を覚えていき検査結果をカルテに記載する。		